

機器仕様書

機器名	仕様内容
水剤台	幅600×奥行600×高さ1800程度のものであること。
	SUS製の水槽を内蔵していること。
	洗浄用逆噴射装置（圧力弁）が付いていること。
	40種類程度の薬品を設置できること。
	水道蛇口はレバー方式であること。
	シンク排水部は防臭トラップ付であること。
集塵機付調剤台	幅1800×奥行600×高さ1800程度のものであること。
	HEPAフィルターを採用し、2フィルター仕様であること。
	集塵効率は0.3 μ 粒子で95%以上であること。
	下台は鍵付き引出し及び引戸タイプであること。
	既存の散薬監査システム（TOSHO SW-K S-WAVE）を容易に設置可能であること。
	既存の散薬監査システムのプリンターを引出し部分に内蔵可能であること。
	建物天井部に設置する排気ダクトへスムーズに排気が行えること。
散薬台	幅1800×奥行600×高さ1800程度のものであること。
	上棚の薬品の落下防止対策を講じること。
	下台は鍵付き引出し及び引戸タイプであること。
錠剤台1	幅1800×奥行600×高さ1800程度のものであること。
	上棚に140種類程度の錠剤を収納できること。
	下台は、幅450×4段の引出しが2列と幅300×4段の引出しが3列であり、施錠可能であること。
	上棚下段に鍵付き毒薬ケースを取付可能であること。
錠剤台2	幅900×奥行600×高さ1800程度のものであること。
	上棚に70種類程度の錠剤を収納できること。
	下台は、4段の引出しが3列であり、施錠可能であること。
全自動散薬分包機	幅900×奥行400×高さ900程度のものであること。
	分包速度は40包/分以上であり、標準、低速及び超低速の切替が可能であること。
	分包数は1～45包の設定が可能であること。
	分包紙は品質保持に優れ、シールずれのない二つ折り分包紙を採用し、容易に交換が可能であること。
	分包紙は分包量に合わせて4段階以上の紙幅（印字可能）選択が可能であること。
	45マス以上の錠剤コンベアが設置されていること。
	操作用タッチパネルは5.7インチ以上であること。
既存の散薬監査システム（TOSHO SW-K S-WAVE）及び処方解析システム（TOSHO Sphere）との接続が可能であること。	